

# 公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

## 第17回生涯学習推進協議会 (公民館全国セミナー) 参加報告

4.5

- 2 **トピックス** 広域合併と公民館活動の課題
- 3 **視点** 悩み多き仕事ながらも～一年生館長のつぶやき～
- 3 **ひろば** 挨拶から始まる子どものしつけ
- 6 **実践記録シリーズ** 子どもと親と保育者と公民館の4者の共有の場をめざして～平成17年度保育者研修会より～
- 7 **サークル交流** サンサンクラブ (阿賀野市) / ハーモニカクラブ (神林村)
- 7 **素顔拝見** 岩間美果さん (村上市) / 駒形淳子さん (南魚沼市)



「山本山高原スイセンロード」  
小千谷市

表紙解説

震災を乗り越え、山本山高原に市花「スイセン」が咲き誇ります。  
市民のまちづくり活動で植えられたものです。



# 広域合併と公民館活動の課題

県公連副会長(上越市公民館長) 星野正行



心豊かな地域づくりの推進を図る」  
そして、市民全体の一体感醸成を更に図る事業を基本に、個性と創造性豊かで活力に満ちた地域づくりの推進に努めることとしています。

また、重点方針として

私の住む上越市は平成十七年一月一日に周辺十三町村と合併し、一年が過ぎました。今年には二十年ぶりの豪雪となり、通勤や施設管理に大変な苦勞を実感するとともに、被害を受けられた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

当市においては合併二年目にあたり、公民館の基本方針を左記のとおり定めました。

「公民館は生涯学習の拠点として、いつでもどこでも、だれでも、学ぶことができ、集いあえる憩いの場として、また広く学習情報の提供や協働によるまちづくり活動、学習機会の提供など、自主的な学習活動の育成と支援を行います。」

◎ 全市展開事業を実施し、公民館事業をバランスよく実施し、地域間の調和を図る。  
◎ 地域の特性を生かしたコミュニティ活動が円滑に進められるよう、安全で安心なまちづくり活動の推進を図る。

◎ 住民要望の高い講座の拡充や講座環境の充実を図る。  
◎ 地域事業の展開を図り、世代間交流による地域づくりを進める。

◎ 各地区公民館・各分館の施設整備の充実を図る。  
を掲げて、公民館事業を更に充実するよう努力しています。

昨年度は、合併一年目のため各区で行なっている講座は区民対象の事業が中心でありましたが、全市展開事業も一部の講座で行いました。

その結果、定員を上回る申し込みがあったり、区を越えて遠くから参加をしていたり、また高齢者講座においては、市内の施設を利用して講座を行うなど合併によるメリットも出ています。

十八年度は前年度の反省を踏まえながら、前段の重点方針に基づき、十三区の地域の特色を生かしながらバランスと調和を図り、百十講座の事業展開を計画しています。

しかしながら、課題も多く厳しい財政状況の中、多くなった施設の維持管理や公民館事業の見直し、更に職員削減などが余儀なくされているのが現状です。

さて、この平成の大合併で新潟県の市町村数は平成十六

年四月一日現在で九十八あったのが、十八年四月一日には三十五と約三分の一に再編され基礎的自治体の減少と、区域や規模が拡大し、行政の仕事みや組織が大きく変貌してきています。

今、全国的に生涯学習や公民館を取り巻く状況は、職員や予算の削減、公民館の指定管理者制度の導入等による民間委託の動きが出ており、公民館の存在意義や果たすべき役割が大きく問われています。

公民館はそこに住む多くの人々の学習の場、交流の場であり、街づくりや人づくりの大切な地域の拠点として、合併等により行政区の拡大に伴って益々その重要性が増してくると思われまます。

私たち公民館の管理運営に携わる者はこのことを十分に認識し、意識改革を図り、公民館の存在を更に高めていきたいと考えています。

## BOOKS INFORMATION

新任職員必携の資料

### 「新任職員のための道しるべ」

2006. 3  
刊行

新潟県公民館連合会 1部 800円  
(送料 実費)

申込先 〒951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 TEL・FAX025-224-6073

# 視点

## 悩み多き仕事ながらも ～一年生館長のつぶやき～

三条市中央公民館長 宗村 里士



公民館制度ができて今年で六十年。生涯学習の環境が十分でなかった当時と比べ、社会全体が大きく変化した今、公民館の今後の姿を思うと非常に厳しいものがある。

行財政改革、指定管理者といった内部変革、地域社会や個人の意識、生活の多様性による価値観や参加意欲の変化。また、かつては公民館の取組みであったものが、行政の各所管課でも積極的に取り組むようになった。さらに、民間事業者の生涯学習事業の展開といった外的要因もあり、それぞれ公民館事業との

役割分担や整合性のあり方も整理していく必要が出てきている。

しかし、多くの市民にとって、新たな出会い、学び、ふれあいの場の多様性は必要だ。市民が様々な機会で自己を高め、仲間づくりを行い、地域のコミュニティを進めていく。それを公民館職員、あるいは行政職員としてどのようにかかわり、一緒になって学んでいくか。解も見つけにくく悩みも多いが、逆にそれが楽しみでもある仕事と考えるようになってきたこのごろである。

H O T N E W S

# 掲 示 板

## 月刊公民館 PR

# ひろば

## 挨拶から始まる子どものしつけ

朝日村公民館運営審議会委員 小野 孝

朝起きると必ず孫に「おはようございます」と大きい声で挨拶する。何で「……ございます」までつけるかというと、子どもも大人と同じに言うからである。

通園・通学の五年間、バス乗り場にいる子どもたちと同様に挨拶して来た。

最初はしばらく返事もしてくれなかったが、繰り返ししているうちに、小さな声からだんだん大きな声で言うようになった。

また、多くの子どもの挨拶によって、その子のその日の心境がわかる。表情や元気のなさで、「今朝は何かあったな」とわかる。大きな声での朝の挨拶は、今日一日の元気を与えてくれるものだから、これからも

挨拶を続けていこうと思う。

挨拶は子どもの「しつけ」の第一歩でもあり、ここから「しつけ」が始まるといっても過言ではない。

ずっと前に公民館に勤めていたとき、「しつけ」の基本は「一つ叱って三つ褒め」と、言っていた講師の言葉が今でも記憶に残っている。大人でも褒められると嬉しいように、子どもも褒められることによって、やる気になり、どんどん進歩していくものだと思う。



# 議会(公民館全国セミナー)参加報告

総合センター 期日 平成18年2月1日(水)～3日(金)

上越市公民館事業係  
主事 市村 和彦



## 分科会

佐藤さんより引き継ぎ、2日目の午後からについて報告させていただきます。

2日目の午後は、それぞれの分科会に分かれての討議でした。項目は、「子どもを地域で育てる事業」「変容迎られる公民館運営」「現代的課題と公民館事業」「住民との協働」「公民館入門」の5つです。私は、この中の「子どもを地域で育てる事業」に参加させていただきました。

参加者の各地域での事例発表をしていき、それぞれの現状や課題について話し合われました。世代間交流、子どもが集まる講座、地域住民との協力と子どもたちのつながり、学校との協力体制などです。

子どもを地域で育てる事業で、どこの地域でも抱える課題は、事業内容や参加人数の少なさでした。その解決にあたっては、体験型の方がみんな参加する。チラシをカラーにし魅力的に、親が行きたくなるような内容にするなどでした。また、この分科会のコーディネーターであるNPO法人ブレインヒューマニティー理事長の能島氏は、どこでやっても大成功する講座はなく、地域に合った事業展開が大切ではないか。そして、これから公民館組織・運営が変容していく中で、単に地域の中で子どもが集まる、育てる事業を行っていくのではなく「子どもを育てることのできる地域を

作る」ことが、これからの公民館が目指すところではないかと言う意見でした。

## 記念講演

3日目は、NHKで気象キャスターをされている平井信行氏よりお話をいただきました。平井氏がキャスターとして常に心がけていることは、難しい気象用語が数多くある中、それをみなさんに噛み砕いてなるべくわかりやすく話すことだそうです。また、それと同じくらい大切なのは、始めのあいさつだそうです。「こんばんは」と元気の良いあいさつをすることで、視聴者のみなさんも心地よく天気予報を見ることにつながるそうです。



受講風景

## セミナーに参加して

今回のセミナーを通して、全国各地の公民館活動を知ることができ、公民館初心者の方にとって大変勉強になりました。このセミナーでの知識と経験をこれからの公民館活動に活かしたいと思います。今回は、参加させていただきありがとうございました。

# 特集

## 第17回生涯学習推進協

会場 東京 (独)国立オリンピック記念青少年

新潟市生涯学習センター  
中央公民館事業係

副主査 佐藤 功



日本全国から64名の公民館関係者が集い、公民館が現在おかれている状況や、今後の課題について学ぶ、とても内容の充実したセミナーでした。

1日目は、3つの講演からスタートしました。

### 講演Ⅰ

経営改革プロデューサー星野芳昭氏による「公民館における事業評価」についての講演で、

- ①国も地方自治体も「経営」を考えなければいけない時代になり、公民館も事業発想から政策課題発想への転換を行わなければいけない。
- ②事業評価は行財政改革のためでなく、施策の発展のために行うべきで、目的の妥当性、事業の有効性、効率性、公平性の検証を論理的に行う必要がある。
- ③公民館職員は、地域課題解決のマネージャーとして期待されている。

などの内容でした。講師が30分も遅刻するというハプニングがありましたが、到着後は、それを取り戻すかのごとく熱弁を振るわれていました。

### 講演Ⅱ

休日は、よく公民館めぐりをして過ごすという、文科省三浦春政社会教育課長は、「時代に応える公民館のあり方」と題した講演で、

- ①現在の公民館は、自己完結性により自らを縛り、首長部局との間に距離を置いている。教養・趣味だけに走らず、地域の課題に直結した課題に取り組むべきであり、専門知識のない公民館と、場所・事業ノウハウのない福祉・環境・基盤整備等の主管課、市民からの信用のない各種団体とが協力して事業を実施するべき。
- ②教育機関としての意識からか、利用者に対し学



三浦課長

校的管理をする硬直した施設が多く、特定のクラブ・サークルのための施設となり、個人が気軽に立ち寄れる場になっていない。市民には何をしている施設なのか分からない。本来、間口は広くあるべきなのに、23条の過度な束縛、無料であるべき、館内での飲食を禁止する、という規制が多く、弾力的な運用ができない施設が多い。

という見解を示されていました。

### 講演Ⅲ

「地域の協働を育む新しい公民館像の探求」と題した東京大学大学院教授佐藤一子先生の講演で、公民館と、大学、NPO、ボランティア団体、国際交流機関などの多様な背景を持つ市民との協働について、具体的な事例を示したお話がありました。

### 事例発表

第2日目の午前には実践事例発表（郡山市、船橋市、松本市）が行われ、各施設での取り組みについて発表があり、特に、郡山市の事業策定までの手法（現状分析→課題の発見→政策への転換→中・長期計画の策定→既存事業の見直し→具体的な事業の計画と方針決定）が参考になりました。また、各施設の発表のほか、質疑応答を通じて活発な意見交換が行われました。

### 感想

着任1年目の私のような初心者からベテラン社教主事の方まで、それぞれに得ることの多いセミナーだったと思います。このような機会を与えていただき、ありがとうございました。

# 実践記録

97

シリーズ

## 子どもと親と保育者と公民館の4者の共育の場をめざして

～平成17年度保育者研修会より～

### 1 保育者研修会の概要

平成17年度保育者研修会は、2月27日鳥屋野地区公民館、3月2日黒埼北部公民館、4日石山地区公民館の3会場において開催されました。

新潟市では、平成8年度より、公民館保育に携わる保育者を養成する「保育者養成講座」を毎年開催しています。現在250名が保育者登録をして、各公民館で活動しています。「保育者研修会」は全登録保育者を対象として、同じく、平成8年度より毎年開催されています。

保育者研修会の目的は、保育室の意義を深く理解し、より良い保育室の運営を図るために、保育者の資質向上をねらいとすることにあります。研修会のテーマは、毎年、時宜にかなったものを保育担当職員による保育委員会で選定しています。今回は「公民館保育室が設置された経緯と意義について」というテーマで、保育室の生みの親ともいえる大河内芳子さんからご講義いただきました。

また、合併後初めての研修会ということで、各教育事務所で活動している保育グループや保育協力者に参加を呼びかけました。新津、豊栄、西川、小須戸、亀田の各教育事務所より19名の方が出席されました。



研修風景

### 2 新潟市の公民館保育の歴史について

昭和49年6月の文部省（現文部科学省）社会教育審議会の建議「乳幼児期における家庭教育の振興方策について」を受け、昭和50年に中央公民館で「乳幼児期家庭教育学級」（ゆりかご学級）を開設するにあたり、急ごしらえの保育室を設置したのが始まりでした。その後、専用の保育室を求める市民の声も

新潟市関屋地区公民館 囑託 近 昭子

あり、昭和55年に講座室の1室を保育室に改装しました。現在では、旧市内12館すべてに専用の保育室が設置されています。

当初は、無償のボランティアが保育に当たっていましたが、平成5年に保育をつける対象事業を決めて、保育者謝礼が予算化されました。

保育対象事業は、「新潟市男女共同参画行動計画」に関する事業、公民館の「家庭教育学級」、離乳食講習会など「保健所が主催する事業」「市政モニター会議」となっています。



大河内さんの講義

### 3 大河内芳子さんのご講義より

保育者には子どもたちの育ちをサポートするとともに、親をサポートすることも求められています。自分の子育て期とは社会情勢や親の育見についての考え方が違うことを理解した上で、どんな言葉が必要なのか、親の預ける不安が「預けてよかった」という喜びに変わるような保育とは、日々考えながら保育活動を行う必要があります。

研修会後の保育者の感想には、「自分が保育を通して学ばせていただいていることに感謝したい」「共感してあげる、そしてわかってあげる、こころ（真心）ある保育と対応が大切であることを再認識しました」とありました。

### 4 おわりに

新潟市は保育室を、ただ子どもを預かるだけではなく、そこにかかわるすべての人たちの学びの場としてとらえています。それは、子どもと親と保育者と公民館の4者の共育の場であるということです。皆で学びあいながら、「子どもたちの育ちの場」をサポートしていきましょう。



昨年十月から四回シリーズで転倒予防教室が、阿賀野市笹神体育館で開かれました。参加者から、生活の中での運動の大切さを実感し、このままだけでなく自主活動で続けてみたいとの希望があり、即、立ち上げ一月十七日、第一回総会を開き、二月七日活動開始、四十名の参加者がありました。

活動は、レクダンスや体育館でマシーンを使つての体力づくりなのですが、大切なことは、仲間づくり、そして、楽しく遊びながら少し汗を流すことと思います。

まだ、立ち上げたばかりで右も左もわからないグループ

**元気で年を重ねましょう**

ささかみサンサンクラブ

ですが、健康で生活できるように、毎週火曜日、体育館で体を動かしています。のぞいてみませんか？

阿賀野市  
サンサンクラブ

飛田野 應子 記

**みんなに喜んでもらえる  
楽しさを求めて**

神林村ハーモニカクラブ



平成九年六月に会員五名で設立し、村の文化協会に加入しました。その後、活動の評判を聞いた人たちが加わり、現在八名で活動しています。

毎週火曜日を活動日とし、練習に励んでいます。みんな我流では演奏できませんが、四部合奏では楽譜どおりに演奏するのは大変です。



第11回神林村芸能まつりでの演奏の様子('05.10.23)

年に一度の「芸能まつり」はその年の集大成でもあり、一生懸命に演奏しています。会場からの拍手が何よりの励みです。その他にも、公民館主催の敬老会や福祉施設でのボランティア出演をしています。

会員の平均年齢は七十五歳くらいです。みんな意欲的にかんばっています。自らの頭の体操としてばかりではなく、誰かに喜んでもらえるのが何よりです。これからも新曲に挑戦し、がんばりたいと思っています。

神林村  
ハーモニカクラブ  
近 巖 記

彼女は、一昨年11月合併の南魚沼市発足時に当社会教育課に異動してきた。以前にも社会教育課の経験はあり、戸惑うこともなかったかと思う。

担当は、「男女共同参画推進事業」少年教育としての「みずなし子ども自然教室」をはじめ、教養講座から予算経理、文書受付に至るまでこなしている。特に「男女共同参画推進」への取組みは、他の市に比べて対応が遅れが見られることから業務も急ピッチで会議やセミ

南魚沼市社会教育課・公民館

主任 駒形 淳子さん



ナーの開催通知、関係者との打合せ、資料の作成から業務終了後のまとめ等、きめ細かな対応をしている。少年教育の事業にしても然り、休日夜間を問わずの奮戦ぶりには正に脱帽である。しかしながら、お体はくれぐれも大切に、そして円満な夫婦仲を祈るばかりである。

(南魚沼市社会教育課長・公民館長 井口光雄 記)

村上市中央公民館の期待の新人、岩間美果さん。4月に社会教育指導員として採用され公民館係に配属されました。

一年目にもかかわらず、テキパキとした仕事ぶりに加え、「係でも飲まねばねっせねー」とコミュニケーションの大切さを問いながらいつも職場を明るく盛り上げています。仕事外でも体育指導員として、またお茶の先生として、保育園の園児らと活動している姿は、職場

村上市中央公民館

社会教育指導員 岩間 美果さん



にもよい刺激となっています。

公民館での担当は、高齢者の長寿大学と幼児を対象とした事業などを担当していますが、ボリュームが多いにもかかわらず、熱心に取り組んでいます。

これからの時代に期待される公民館の役割を理解して、これからの村上市の公民館をもっともっと盛り上げてくれることを期待しています。

(村上市中央公民館 倉松淳志 記)

素顔  
拝見

今回(社)全国公民館連合会、千葉県公民館連絡協議会及び新潟県立生涯学習推進センターから資料提供いただき、何とか標記「新任職員のための道しるべ」を刊行することができました。

本県は、全国一の市町村合併率で、職員異動も大幅に行われ、未経験の方も多数赴任しておる現状です。

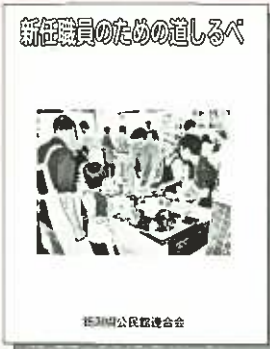
この一冊さえあれば何とか自立できるのではないかと、この編集方針を立て、県内公民館からの実践事例等も掲載し

# 恵贈資料紹介

## 新任職員のための道しるべ

ております。

内容は、I新しく公民館職員になった人たちへ I公民館ってどんな所 2基礎から学ぶ公民館 3楽しく魅力ある事業の企画づくり II公民



### 新潟県公民館連合会

館講座開設のアドバイス III 公民館運営Q&A等 IV公民館事業の事例 V参考資料 Iさまざまな学習法 2公民館職場で使われる単語・キーワード集① 3同② あなたの公民館職員度チェック等から構成されております。

◆問合せ 発注先等  
 ○A4判 96頁  
 ○頒価 八〇〇円 (送料 実費)  
 新潟県公民館連合会  
 TEL・FAX  
 〇二五―二二四―六〇七三

# Net work

## ネットワーク

### 第47回関東甲信越静公民館研究大会開催概要

テーマ 公民館の原点から新たな創造へ  
 ～つどう・まなぶ・ひろげる公民館～

- 趣旨 (省略)
- 主催 関東甲信越静公民館連絡協議会・社団法人全国公民館連合会 群馬県公民館連合会
- 主管 第47回関東甲信越静公民館研究大会実行委員会
- 後援 文部科学省・群馬県教育委員会・群馬県市長会・群馬県町村長会 前橋市・前橋市教育委員会
- 期日 平成18年8月24日(木)～25日(金)
- 会場 全体会 前橋市民文化会館 分科会 前橋市民文化会館 前橋市総合福祉会館 (第4コミュニティセンター) 前橋市総合教育プラザ (第3コミュニティセンター・勤労女性センター)
- 参加者 公民館職員、公民館運営審議会委員、教育委員、社会教育委員、社会教育関係職員、社会教育団体関係者、生涯学習関係者 その他本研究大会への参加希望者

8 日程

大会 1日目 8月24日(木)	12:10	13:15	14:30	14:45	16:45	16:50	17:00	18:00	20:00
	受付	全社表彰式	休憩	シンポジウム	大会アヒール	大会旗引継ぎ			情報交歓会
大会 2日目 8月25日(金)	9:00	9:30	12:00						
	開場	分科会(3会場)	閉会		研究視察				

- 分科会構成と担当都県 (省略)
- シンポジウム  
 テーマ 公民館の原点から新たな創造へ  
 コーディネーター 村松真貴子 (全国公民館連合会理事・アナウンサー)  
 パネラー 櫻井 常矢 (高崎経済大学地域政策学部専任講師)  
 パネラー 片野 親義(前さいたま市岸公民館館長)  
 パネラー 持谷 靖子(前群馬県教育委員会委員長)
- 情報交歓会  
 日時 8月24日(木) 午後6時～8時  
 会場 前橋市民文化会館  
 会費 4,000円(税サービス料込み)
- 参加申込総括表・参加費送付先

(1)参加負担金 3,500円(資料代・大会記録集代)  
 (2)参加希望者は、別紙申込書に必要事項を記入の上、参加負担金を添えて所管の公民館(区市町村)を通じて、各都県公民館連合会・連絡協議会事務局へ6月23日(金)までに申し込んでください。  
 (3)各都県公民館連合会事務局は「申込総括表」により参加者名簿をまとめ、6月30日(金)までに群馬県公民館連合会事務局「第47回関東甲信越静公民館研究大会」へ申し込んでください。

【参加申込総括表送付先】  
 〒371-0026 前橋市大平町2丁目3番6号  
 前橋市中央公民館内 群馬県公民館連合会事務局

# event information



あ と が き

「新任職員のための道しるべ」を刊行いたしました。ご一読いただいた方から書評が寄せられましたが、好評のようです。これ一冊で何とかかなりそつた、というところで、年度始め、人事異動等であわただしい日々かと存じますが、一日も早く平常活動を祈念いたします。

(鈴木 記)